

岩見沢市の教育を取り巻く環境について

- ①児童生徒数の推移
- ②義務教育学校「くりさわ学舎」の開校
- ③中卒者の進路状況・市内高校の動向
- ④小中学校校舎等の整備（改修）状況

教育部学校教育課



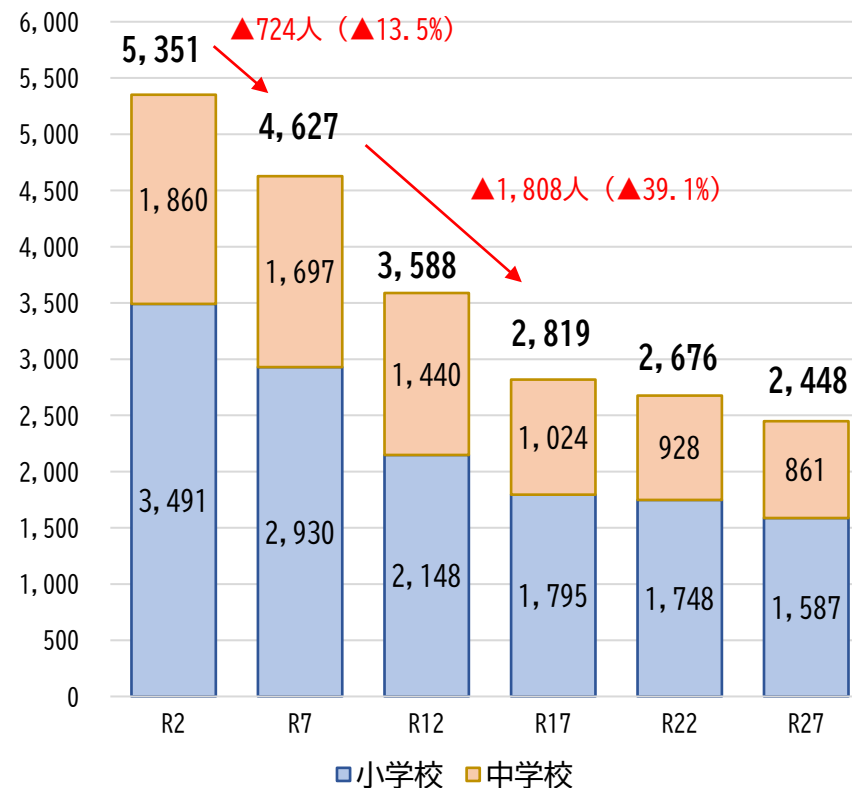
①児童生徒数の推移

●児童生徒数の推移（R7.4.1現在）～小学校のR17以降、中学校のR22以降は社人研推計

		R2		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	R22	R27
岩見沢小	児童数	297		237	236	224	212	213	207	183	178	162
	学級数	(12)		(11)	(11)	(10)	(9)	(9)	(8)	(7)	(7)	(6)
中央小	児童数	342		334	331	309	298	280	265	220	215	196
	学級数	(12)		(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(8)	(8)	(7)
南小	児童数	404		356	327	308	288	273	253	213	207	188
	学級数	(13)		(13)	(12)	(12)	(11)	(11)	(10)	(8)	(8)	(7)
志文小	児童数	234		187	170	165	154	131	120	97	95	86
	学級数	(9)		(7)	(7)	(7)	(7)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)
幌向小	児童数	236		223	207	185	171	166	149	129	126	114
	学級数	(10)		(10)	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(6)	(6)	(6)
東小	児童数	325		231	213	197	178	154	147	128	124	113
	学級数	(12)		(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)
美園小	児童数	401		331	322	314	284	267	254	214	209	189
	学級数	(12)		(12)	(12)	(12)	(11)	(11)	(11)	(9)	(9)	(8)
日の出小	児童数	327		257	240	217	200	185	158	127	123	112
	学級数	(12)		(10)	(10)	(9)	(8)	(8)	(7)	(6)	(6)	(6)
第一小	児童数	410		369	363	358	336	310	294	241	235	213
	学級数	(12)		(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(12)	(11)	(9)	(9)
第二小	児童数	119		134	117	118	118	113	100	85	83	75
	学級数	(6)		(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)
北真小	児童数	126		99	94	84	77	76	67	47	46	42
	学級数	(6)		(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(4)	(4)	(4)
メーブル	児童数	38		24	22	20	21	21	19	17	16	14
	学級数	(4)		(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
北村小	児童数	97		55	52	47	46	45	41	35	34	31
	学級数	(6)		(5)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
くりさわ	児童数	135		93	84	79	73	76	74	59	57	52
	学級数	(6)		(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(5)	(5)	(5)
小学校計	児童数	3,491		2,930	2,778	2,625	2,456	2,310	2,148	1,795	1,748	1,587
	学級数	(132)		(123)	(120)	(116)	(110)	(107)	(103)	(89)	(87)	(83)

		R2		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R17	R22	R27
東光中	生徒数	362		280	267	259	260	255	227	173	168	156
	学級数	(10)		(9)	(8)	(8)	(9)	(9)	(7)	(6)	(6)	(6)
光陵中	生徒数	628		590	577	559	545	525	498	365	335	311
	学級数	(18)		(16)	(16)	(16)	(15)	(15)	(15)	(11)	(10)	(10)
緑中	生徒数	248		257	250	227	232	231	239	160	148	137
	学級数	(8)		(9)	(8)	(6)	(7)	(8)	(8)	(6)	(5)	(5)
豊中	生徒数	132		115	114	125	126	117	115	76	72	67
	学級数	(5)		(4)	(4)	(5)	(5)	(4)	(4)	(3)	(3)	(3)
上幌向中	生徒数	64		70	75	74	67	58	63	54	45	41
	学級数	(3)		(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
清園中	生徒数	138		133	124	104	109	107	110	67	55	51
	学級数	(5)		(5)	(5)	(4)	(4)	(4)	(4)	(3)	(3)	(3)
明成中	生徒数	142		143	153	156	147	129	118	74	53	49
	学級数	(5)		(6)	(6)	(6)	(6)	(5)	(5)	(3)	(3)	(3)
北村中	生徒数	46		50	46	41	31	26	25	19	17	16
	学級数	(3)		(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
くりさわ	生徒数	100		59	54	52	51	44	45	36	35	33
	学級数	(4)		(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
中学校計	生徒数	1,860		1,697	1,660	1,597	1,568	1,492	1,440	1,024	928	861
	学級数	(61)		(58)	(56)	(54)	(55)	(54)	(52)	(41)	(39)	(39)

●5か年ごとの児童生徒数の推移グラフ（R2～R27）



- ・ R2と比較してR7は、724人 約14%の減少
- ・ R17までの10年で、1,808人 約39%の減少見込み
- ・ R6の出生数275人、今後300人以下が常態化する可能性
- ・ 14歳以下の社会動態が改善傾向にある一方で、出生数の減少が著しく、児童生徒数の減少もさらに進行

②義務教育学校「くりさわ学舎」の開校

●開校までの経過

R2. 7月「岩見沢市立小・中学校適正配置計画」策定



R5. 4月「小中一貫教育」のスタート



R6. 5月「栗沢中学校区学校運営協議会」と「栗沢中学校区地域学校協働本部」の連名で、義務教育学校開校に関する「要望書」が提出



R7. 3月 栗沢小・中学校 閉校式（校旗返納式）举行

R7. 4月 市内初の「義務教育学校」として入学式举行
R7. 5月「開校式」を举行

- ・計画期間：前期（R2～R5）、後期（R6～R10）の9年間
- ・前期対象校：北村小中学校、栗沢小中学校

小中一貫教育の導入へ（北村は小中一貫校、栗沢は義務教育学校）

※校舎の改修時に義務教育学校の設置を想定

【要望内容】

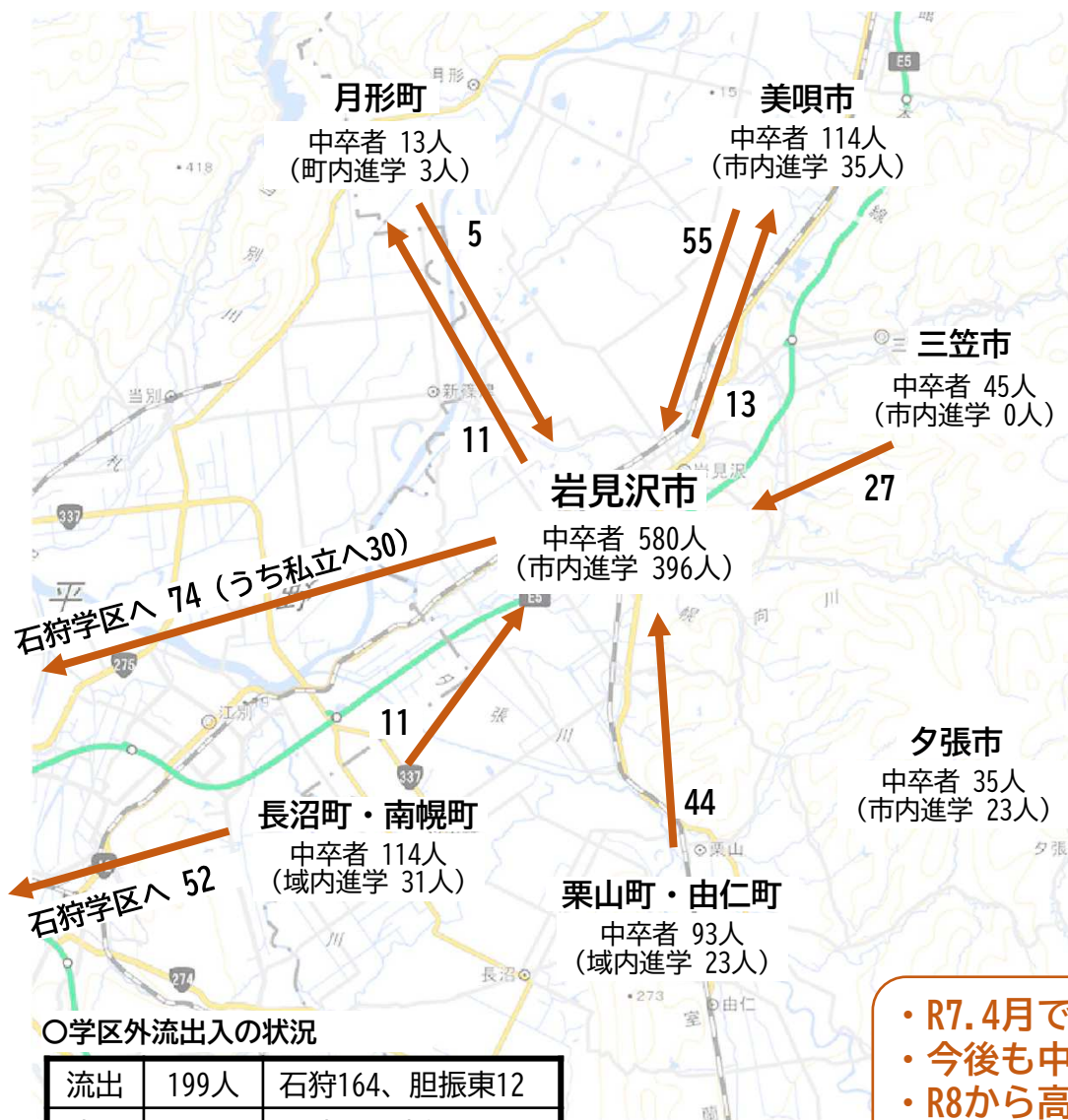
- ・栗沢小校舎を活用してR7年度から義務教育学校をスタートすること
- ・新校舎の建設について出来るだけ早期に方向性を示すこと

- R6. 6 教育委員会の方針決定（総務常任委員会で報告）
- R6. 7 地域説明会の開催、開校準備委員会で学校名を検討
- R6. 8 第8回教育委員会にて学校設置条例の改正、校名を「くりさわ学舎」とすることを決定
- R6. 9 総務常任委員会で「義務教育学校の設置」について報告
第3回市議会定例会にて条例改正、校名決定
- R7. 2 校舎整備基本構想を策定

- ・栗沢地区は市内の中でも地域協働の好事例
- ・小中一貫教育のモデル校として認識
- ・引き続き、校舎建築に向けて地域と連携

③中卒者の進路状況・市内高校の動向

●中卒者の進路状況 (空知南学区) R6.3卒業者 ※道教委資料より



※石狩学区 (札幌、江別、千歳、恵庭、北広島、石狩、当別、新篠津)

※胆振東学区 (苫小牧、白老、厚真、安平、むかわ)

●岩見沢市の中卒者数の推移 (見込) ※道教委資料より

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R8~14 増減
中卒者数	582	596	586	527	554	504	484	465	▲117
対前年増減	2	14	▲10	▲59	27	▲50	▲20	▲19	

●新設校「岩見沢東高」の開校

【統合・開校までの経過】

- R3. 6月 道教委より東高の1間口減の方針が提示
 - R3. 6月 岩見沢市高校適正配置連絡会議の開催
 - R4. 3月 東高と西高の統合による新設校の設置、緑陵の普通科1間口増をR7に実現するよう道教委へ要望書を提出
 - R4. 6月 道教委より東高と西高を統合、新設校設置の方針が提示
 - R6. 6月 新設校の学科が「文理探究科」2学級と「普通科」4学級に決定
 - R6. 9月 新設校の校名が「東高」に決定
(旧西高の校舎を使用)
 - R7. 4月 新設校が開校
DXハイスクール指定 (R6~)
- ※定時制はR9目途に新設校へ移転予定



新設されたDXルーム

- ・ R7. 4月で岩東38名、岩農86名、緑陵19名の欠員
- ・ 今後も中卒者は減少の見込み (市内以上に近隣市町の減少が著しい)
- ・ R8から高校授業料無償化、今後私立への流出が増えることも懸念
- ・ 間口維持に向けて、市内高校教育の質の向上と魅力化は必須

④小中学校校舎等の整備（改修）状況

●小中学校校舎等の概要（R7.4.1現在）

小学校	延床面積 (㎡)	供用開始	経過 年数	主体構造	地上 階数	大規模 改修
岩見沢小	5,927.00	H24.3.13	13	鉄筋コンクリート	3	
中央小	6,024.00	H30.12.20	6	鉄筋コンクリート	3	
南小	6,586.00	S51.7.1	48	鉄筋コンクリート	3	H28
志文小	5,161.00	H26.12.9	10	鉄筋コンクリート	3	
幌向小	5,468.00	S56.3.1	44	鉄筋コンクリート	3	
東小	6,033.00	S50.3.1	50	鉄筋コンクリート	3	R1
美園小	5,438.00	S44.12.1	55	鉄筋コンクリート	3	H10
日の出小	5,966.00	H18.6.1	18	鉄筋コンクリート	3	
第一小	6,183.00	H26.3.24	11	鉄筋コンクリート	3	
第二小	3,076.00	S48.3.1	52	鉄筋コンクリート	2	
北真小	3,321.00	S62.7.1	37	鉄筋コンクリート	3	
メープル	2,280.00	H11.3.1	26	鉄筋コンクリート	1	
北村小	5,165.00	H8.9.1	28	鉄筋コンクリート	2	
くりさわ(旧栗沢小)	6,415.00	H3.12.1	33	鉄筋コンクリート	2	

中学校	延床面積 (㎡)	供用開始	経過 年数	主体構造	地上 階数	大規模 改修
東光中	7,102.00	H20.12.1	16	鉄筋コンクリート	3	
光陵中	10,220.00	H9.9.1	27	鉄筋コンクリート	3	
緑中	5,870.00	S48.8.1	51	鉄筋コンクリート	3	H16~18
豊中	4,889.00	S61.6.1	38	鉄筋コンクリート	3	
上幌向中	3,777.00	H1.7.1	35	鉄筋コンクリート	2	
清園中	4,776.00	S57.3.1	43	鉄筋コンクリート	3	
明成中	5,311.00	S59.7.1	40	鉄筋コンクリート	3	
北村中	3,608.00	H23.3.1	14	鉄筋コンクリート	2	

●校舎等管理事業 予算額推移（単位：千円）

	R5	R6	R7
小学校	247,956	280,654	67,479
中学校	73,694	37,084	50,654

●主な整備（改修）状況 R5.R6実績、R7予定

令和5年度 実績	決算額 (千円)
メープル小校舎・体育館防水・外壁改修工事	144,958
清園中オイルタンク等改修工事	21,967
北村小改修工事实施設計	3,190

令和6年度 実績	決算額 (千円)
小学校エアコン整備	415,291
中学校エアコン整備	221,155
北村小屋上防水・外壁改修工事	205,359
照明LED化改修業務（美園、北真、東光、緑）	126,023

令和7年度 予定	決算額 (千円)
くりさわ学舎体育館修繕	8,800
豊中学校ブロック壁修繕	7,953
東光中学校体育館長寿命化工事基本・実施設計	3,100

- ・20年以上経過が約半数（特に中学は大半）
- ・計画的に整備（改修）は実施
- ・老朽化の進行も相まって修繕が追いついていない状況

南空知定住自立圏について

企画財政部企画室

南空知定住自立圏について

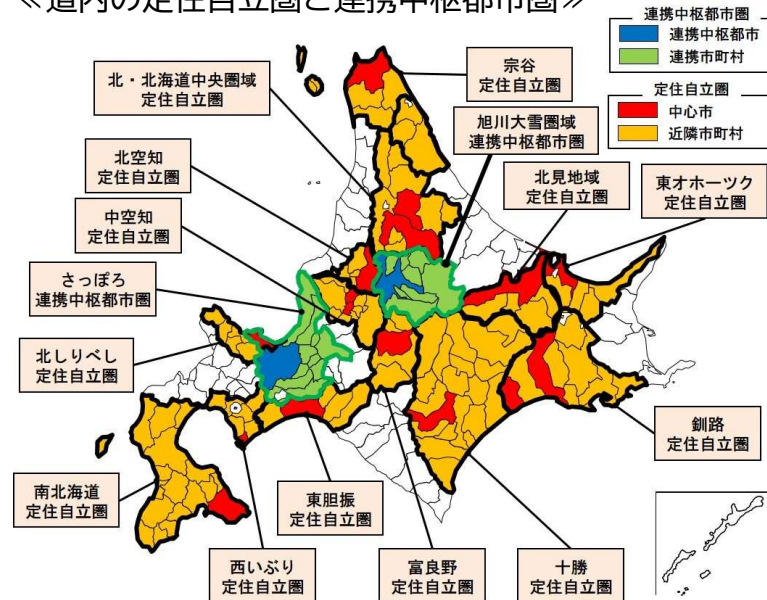
1. 定住自立圏について

【定住自立圏とは】

- ・H21創設の制度（総務省）
- ・三大都市圏への人口流出を食い止め、地方圏への人口の流れを創出。
- ・住民生活に必要な機能が集積する都市が「中心市」となり、圏域全体において中心的役割を担う。
- ・「中心市」が周辺市町村と役割分担し、都市機能や生活に必要な機能を確保。
- ・生活機能の確保のための事業を実施し、人口定住を図る。

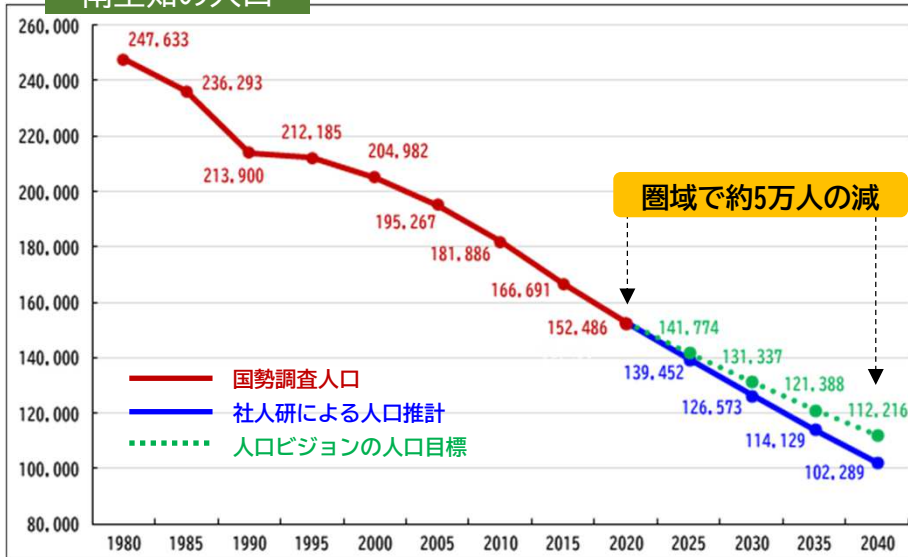
定住自立圏	全国)130地域	道内) 13地域
-------	----------	----------

《道内の定住自立圏と連携中枢都市圏》



南空知地域における「定住自立圏」の形成

南空知の人口



南空知定住自立圏

中心市：岩見沢市

構成市町：夕張市、美唄市、三笠市、南幌町
由仁町、長沼町、栗山町、月形町

R7.3.26 岩見沢市と全構成市町で連携協定締結

R7.3.28 南空知定住自立圏共生ビジョン策定

■人口減少が急速に進行する中においても、この地域で生活していくために必要な機能や住民サービスを確保していくことを目的に、当市と南空知8市町が、新たな広域連携をスタート。

■限られた経営資源を共有し、構成市町による役割分担を行い、行政事務の効率化、住民に対する質の高いサービスの維持に取り組むことで、将来に渡って誰もが安心して暮らし続けられる南空知圏域の形成を図る。

南空知定住自立圏について

2. 連携協定と共生ビジョンについて

連携協定

岩見沢市と構成市町が1対1で締結

【協定内容】

国の要綱に明記される次の全17分野

- ①医療
(救急医療体制、地域医療)
- ②福祉
(障がい者福祉、高齢者福祉)
- ③教育
(学校教育、生涯学習・社会教育)
- ④土地利用
- ⑤産業振興
(農業、商工・雇用、観光)
- ⑥環境
(環境・衛生、廃棄物対策)
- ⑦防災
(防災、消防)
- ⑧公共交通
- ⑨ICTインフラ
- ⑩道路インフラ
- ⑪地産地消
- ⑫移住・交流
(移住、域内外交流)
- ⑬人材育成
- ⑭外部人材活用
- ⑮職員研修
- ⑯公共施設
- ⑰事務の共同実施



共生ビジョン

計画期間：令和7年度～令和11年度

連携の取組みについての基本方針を定めたもの(※スタート時点 **9分野 12カテゴリ**)



具体的な取組みについては、令和7年度から協議

分野	カテゴリ	連携方針
医療	救急医療体制	▶ 休日・夜間の救急医療体制の確保
	地域医療	▶ 専門医の診療体制の確保
		▶ 医療従事者の養成・確保
教育	生涯学習・社会教育	▶ 生涯学習機会の充実と文化・スポーツの振興
		▶ 社会教育施設の利用促進
産業振興	農業	▶ 農作物の生産性向上
		▶ 農業従事者の確保
		▶ 鳥獣被害防止対策の強化
産業振興	商工・雇用	▶ 地元企業の経済活動の活性化
		▶ 雇用促進と人材確保
産業振興	観光	▶ 広域観光の促進
防災	防災	▶ 地域防災体制の充実
公共交通	公共交通	▶ 生活に必要な交通手段の確保
		▶ 鉄道ネットワークの確保
ICTインフラ	ICT	▶ ICT環境の整備と利活用の推進
移住・交流	移住	▶ 移住・定住の促進
人材育成	人材育成	▶ 大学と連携した人材育成
職員研修	職員研修	▶ 職員の業務能力と資質の向上

準備の整った分野やカテゴリから具体的な取組みの協議を進める
『スモールスタート』 ➡ 計画期間内に全ての分野の協議を開始

教育分野「学校教育」についても、今年度から広域連携の協議を開始



- ・南空知定住自立圏の取組みについて（生涯学習・社会教育部会）

教育部 生涯教育課

1 施策体系（生活機能の強化8分野 抜粋）

分野	カテゴリ	取組方針
医療	救急医療体制	➡休日・夜間の救急医療体制の確保
	地域医療	➡専門医の診療体制の確保
	医療に関するその他のこと	※必要に応じて協議
福祉	障がい者福祉	※計画期間内に協議をすすめる
	高齢者福祉	※計画期間内に協議をすすめる
	福祉に関するその他のこと	※必要に応じて協議
教育	学校教育	※計画期間内に協議をすすめる
	生涯学習・社会教育	➡生涯学習機会の充実と文化・スポーツの振興 ➡社会教育施設の利用促進 ➡図書館サービスの充実
	教育に関するその他のこと	※必要に応じて協議
土地利用	土地利用	※計画期間内に協議をすすめる
産業振興	農業	➡農作物の生産性向上 ➡農業従事者の確保 ➡鳥獣被害防止対策の強化
	商工・雇用	➡地元企業の経済活動の活性化 ➡雇用促進と人材確保
	観光	➡広域観光の促進
	産業に関するその他のこと	※必要に応じて協議
環境	環境・衛生	※計画期間内に協議をすすめる
	廃棄物対策	※計画期間内に協議をすすめる
	環境に関するその他のこと	※必要に応じて協議
防災	防災	➡地域防災体制の充実
	消防	※計画期間内に協議をすすめる
その他の分野	—	※必要に応じて協議

生活機能の強化

2 生涯学習・社会教育

連携の方向性

- ・人口減少・少子高齢化に伴い、社会教育事業への参加者やチームの減少のほか、施設の老朽化による社会教育活動の場所の確保が課題
- ・社会教育活動への参加促進として、[各種イベントの広域開催](#)、[相互交流](#)、[施設や図書の相互利用](#)に取り組んでいく

成果指標（KPI）

【指 標】 圏域全体の社会教育事業参加者数
【基準値】 82,956人（R 5年度）全275事業
【目標値】 76,000人（R11年度）

※目標値の考え方
→基準値の92%（人口ビジョンを基とした5年間の人口減少率）

連携方針

- ◆生涯学習機会の充実と文化・スポーツの振興
（学習講座、文化・スポーツ活動の広域化と交流の促進）
→各市町が行う学習講座、文化・スポーツ教室、芸術鑑賞等の
[参加対象の拡大や広域開催](#)、[イベント情報の相互PR](#)
- ◆社会教育施設の利用促進
（施設の相互利用と合宿誘致等の有効活用の推進）
→圏域住民を対象とした[施設の相互利用](#)、合宿誘致に向けた施設の有効活用
- ◆図書館サービスの充実
（図書の相互利用、読書活動の活性化に向けた取組み）
→[図書の相互貸出](#)、[イベントの情報共有と相互PR](#)



「未来のトビラを拓く、教育のまち 岩見沢」



3 部会構成及び今後の取組(協議)内容

●生涯學習·社會教育部會

岩見沢市	社会教育関係課長、図書館長10名で構成 (部会長：岩見沢市)
夕張市	
美唄市	
三笠市	
南幌町	
由仁町	
長沼町	
栗山町	
月形町	

生涯学習機会の充実と文化・スポーツの振興

- 各市町が行う各種事業の情報の一元化
(**ポータルサイト構築**)
→ スポーツ教室・大会、芸術鑑賞会、学習講座などの
共同開催(相乗り)

社会教育施設の利用促進

- 施設の利便性・稼働率向上に向けた相互利用の検討
→圏域単位での合宿誘致の検討(施設利用・宿泊)

圏域の将来像（R7～II）

- ・各市町の特色を残しつつ、優位性を活かして発展する圏域
- ・資源(ヒト・モノ・カネ)を共有し、住民の生活レベルを維持する圏域
- ・厳しい環境下においても、未来志向で新しいことにチャレンジする圏域

- 図書館の相互利用、絵本の巡回展、イベント情報の共有など(図書の相互貸し出しは以前より実施済)

図書館サービスの充実

- 連携事業の追加項目の検討
→制度改正等により、新たに取組む事業の検討

その他

4 協議スケジュール

[illegible]

5 試験実施(プレ)事業 ※R6年度

- 岩見沢市→小学生初級スキー教室(萩の山市民スキー場)
 - ◆岩見沢スキー連盟への補助により、小学生対象のスキー教室を1月初旬に実施している。(受講料1,000円/人)
- 月形町 →キッズ・スキー教室(美唄国際スキー場)
 - ◆小1・2年生対象のスキー教室は、町のバスを利用して1月初旬に実施している。社会教育担当職員が引率し、月形町スポーツ推進委員・スキー同好会が指導。(受講料1,000円/人)

・事業内容が類似していたため、岩見沢市・月形町・岩見沢スキー連盟と調整し、
本年、1/3(金)・1/4(土)に連携事業(試行)として開催
※月形町→職員の負担軽減、事業費の節減につながった

岩見沢433人
月形町 13人



《小学生初級スキー教室》開催要項

【主 旨】市内の小学生に安全なスキーの滑り方、正しいスキーマナー・スキー技術の習得等を目的としてスキー指導を行います。

【主 催】岩見沢スキー連盟 【後 援】岩見沢市教育委員会

【日 時】令和7年1月3日(金) 午前・午後 1・5・6年生、4日(土) 午前・午後 2・3・4年生

受 付 発着時に講師が迎えます

開講式 午前10時 ※1,2年生は15分早く終了します

練習時間 午前10時30分～12時00分 午後1時～3時00分 ※

【場 所】萩の山市民スキー場 【受講料】1,000円

【申込み】12月11日(水)までに右の申込書にご記入し、在学している学校にお申込み願います。

なお、当日のお申込みは受付できませんのでご了承ください。

※ 受講料は当日発着時に講師が集めます。つり銭のないように、ご用意願います。

【当日用意するもの】受講料・ゼッケン・昼食・マスク・(リフト券) ※組によってはリフト券が必要になります。当日ご確認ください。

＜ゼッケンについて＞

- ◆ 事前に作成し、ご用意願います。(スポーツ用品店等で購入可)
- ◆ 胸面・背面の両方から見えるように、肩ひも付きのものを使用するか、もしくは片面ずつ安全ピンで付けてください。
- ◆ 上段に名字・名前、下段に学校名・学年を胸面・背面に黒色(マジック等)で記入してください。

ふりがな	岩見 太郎
名字・名前	岩見 太郎
学校名・学年	岩見沢小 1年

＜お 願 い＞

- ◆ スキー靴の履き方・スキー脱着の練習をしておいてください。
- ◆ ワックスぬり等の手入れは完了させておいてください。
- ◆ 感染症対策といたしまして当日朝起きたら検温をお願い致します。当日体調不良の生徒さんは参加をご遠慮ください。

＜重要事項＞

- ピンディング(金具)の調整について
ピンディング(金具)の調整はP1法により、スキーヤーの責任において調整することとなります。受講される方は必ず「自己管理・自己責任」により、調整してから受講してください。(指導者は、調整することができません。)

○雪不足などで中止の際には萩の山スキー場ホームページ、初級スキー教室Facebookページにてお知らせいたします。出かける前にご確認ください。

◆ スキー教室にお申込みいただいた方には12月24日頃を目途に、改めてご案内の文書をお送りいたします。

なお、文書が届かない場合はお手数ですが、岩見沢スキー連盟までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

岩見沢スキー連盟(萩の山スキー場内) Tel:44-2119
岩見沢市教育委員会
生涯学習・文化・スポーツ振興課 文化・スポーツ振興係
(4条西3丁目であえーる岩見沢4階) Tel:35-5129